



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校は、全国的にも加盟校が数少ない工業高等学校です。「『ものづくりはひとつづくり』を通じての地域実践教育」をプロジェクトテーマにしています。「ものづくり」を通じて地域に関わるE S D活動を行っています。

〈従来から取り組んでいる内容〉

#### ●地域社会に開放した学校祭における製作物の展示

学校祭の一般公開で、平成27年度は1,600人ほどの地域住民や保護者等に来校していただきました。生徒たちは科やクラス、文化部でものづくりを学ぶ学校らしい発表を行っています。今年は電子機械科3年生の製作した人力で動かす遊園地のコーヒーカップが校内の最優秀賞を受賞しました。

#### ●社会福祉協議会にて車椅子のメンテナンス

平成27年度も学期毎に、機械科を中心とした生徒たちが社会福祉協議会に赴きました。生徒たちは、高齢者や傷病者、身体的な障害をお持ちの方が使用している30台余りの車椅子を定期点検しました。ブレーキ調整やタイヤのムシ交換などを行いました。

#### ●環境技術科による近隣保育園での出前授業

平成27年度は、環境技術科の生徒たちが名古屋市内の3つの保育園で化学の出前授業を実施しました。実験を通じて4~6歳くらいの子どもたちに、化学に興味・関心を持ってもらうことがおもなねらいです。あわせて牛乳パックをリサイクルした「紙すき体験」や廃油を再利用した「キャンドルづくり」などを行いました。

#### ●教科横断的な取り組み「3・11に学ぶ」

教職員が各授業で「学校全体のテーマに関する内容」を扱う取り組みをしました。ねらいは①教科・科目ごとに専門化された知を相互に関連させる力を生徒たちが身につけること。②現代の諸課題を多様な視点から深く学ぶ態度や行動力を育むことです。平成25年度から「3・11に学ぶ～防災や被災後の人とのつながり」をテーマにあり、今年はこのテーマでの最終年度となります。理科では、専門家を招いて放射線の利用と防護について実習を通して学びました。美術では、自分の住みたい家の間取り図・外観図・模型の製作を通して生徒が地震・津波対策を考慮した構造を考えました。環境技術科では、水についての単元の中で災害時の水の確保について学習しました。「エネルギー入門」授業では従来の機械的なエネルギー変換技術から原子力エネルギーや再生可能エネルギーに対して、エネルギーという技術的側面から社会背景・原理・実用例・世界情勢などを学び、原発事故や地震・津波・ハリケーンといった自然エネルギーのメカニズムにも注目して、最終的に3E問題[エネルギー供給・経済成長・環境保全]の持続・実現の可能性について考察しました。

#### ●飛行機製作

航空宇宙産業界の国際戦略総合特区の中核を愛知県は担っています。本

校でも、平成 22 年度から授業と同好会活動を通して、飛行機製作に取り組んでいます。さらに、飛行機事業推進/活性化のための製作・研修・見学・出展といった研鑽活動をしています。これらの活動により、飛行機製作を核にした産学行政連携が実現し、最終的に地元産業の次世代人材育成が実現できています。

〈平成 27 年度より、新たに取り組み始めた内容〉

○防災教育プロジェクト

高大連携高校生防災教育プロジェクトに有志生徒が参加しました。今年度は防災についての知識を身につけて来年度は学んだ知識をもとに校内で活動を行えるよう計画を立てています。

○生徒会活動を通しての発展途上国への支援

エコスクール委員の活動として「ペットボトルキャップ」のリサイクルを通じて、発展途上国のこどもたちへワクチンを提供しました。JRC 部と生徒会の取り組みとして書き損じハガキでカンボジアの地雷を撤去する取り組みを始めました。

○授業の中で、地域の人、施設との連携した国際理解教育

授業の中で名古屋モスク、JICA 中部などを訪ね、文化やフェアトレードについて学びました。

○ユネスコスクールの研究会への参加

名古屋ユネスコ協会が主催する ESD パスポート体験発表会に教員と生徒が参加し他校のユネスコスクールの活動について学びました。

関連する名市エニユースを添付します。

Vol. 174 専門家による原子力出前授業

Vol. 175 ペットボトルキャップリサイクル

Vol. 176 Vol. 177 飛行機製作

Vol. 178 ESD パスポート体験発表会

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

■ 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)

■ 時間外活動の時間を使用

□ ユネスコクラブの活動として実施

□ その他 ( )